

NEC WARPSTAR無線間通信 (WDS)の設定方法 (WR6650S)

手順

★ワイヤレスLANで電波が届きにくい場合、もう一台親機(B)を設置し通信距離を伸ばすことができます。

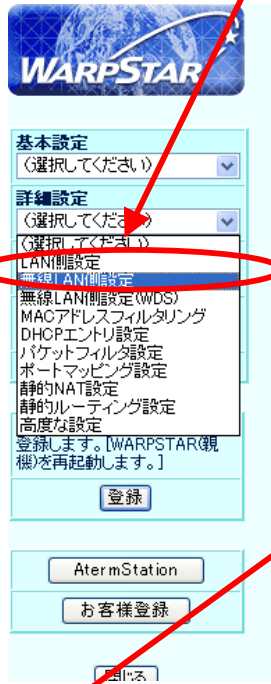
- ①2台の親機共にWDS通信動作モードを使用するに設定する。
- ②SSIDとWEPキーを2台とも同じにする。
- ③親機にお互いのMacアドレスを登録する

NEC製とBUFFALO製品との違い

NEC製は最初にルーターモードかアクセスポイントモードを選択をする。親機(A)はルーターモード、親機(B)をアクセスポイントモードに設定する。親機(B)はIPアドレスを固定化する。通常アクセスポイントモードに設定すると、192.168.0.210に変更される。任意で変更の場合は、“詳細設定”→“LAN側設定”で変更できる。

- ①2台の親機共にWDS通信動作モードを使用するに設定する。
詳細設定→無線LAN側設定→WDS通信動作モード→使用する

BUFFALO製は下記設定後最後にブリッジモードに変更する。



- ②SSIDとWEPキーを2台とも同じにする。

- ③親機にお互いのMacアドレスを登録する

詳細設定→無線LAN側設定(WDS)→
WDS対応機器の編集→MACアドレス入力→編集ボタン→エントリ番号横にチェック
MACアドレスは親機本体底にかかれています。

